

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年5月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675200168
法人名	特定非営利活動法人 ケアネットあいら
事業所名	グループホーム にしきえ
所在地	始良市加治木町木田1133番地 (電話) 0995-62-5651
自己評価作成日	平成27年4月8日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成27年4月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービスのグループホームとして、まずは地域の方々にその存在を知って頂くことが重要であるとの思いから、気軽にお越し頂けるように掲示板を設置して、昨年4月に開設した地域交流センターを活用するなどしています。また、同じ理由で法人が核となり、介護劇を地域や学校で行ったり、理事長、管理者共に地域のさまざまな役員を兼ねており、様々な機会を通じて認知症を始め、福祉についての啓蒙活動を行っています。このことは地域の皆様と多くの出会いを生み出すことであり、何かお困りのことがあったら、気軽に相談して頂けるような関係が築けたらとの思いで日々活動しています。そうして地域の方とグループホーム、隣接している小規模多機能ホームが共に助け合い、地域の方が住み慣れた場所ですらでも安心して暮らして頂けるよう、お手伝いできたらと考えております。当ホームの特徴として、非常時の対応の視点も含め、どの居室からでもすぐにテラスを利用してすぐに外に出られるように開放的な造りになっています。福利面として女性が多数勤務しているとの現状を踏まえ、保育時間に配慮した勤務にしたり、児童クラブの利用料金補助や退職積立金全額、事業者負担やリフト浴導入など、心身共に健康でなければ、良い介護はできないとの考えの基で職員への配慮を行っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

幹線道路から少し入った閑静な新興住宅地に建てられているグループホームである。近隣には病院・学校等もあり、夏はホームのテラスから始良市の花火大会を鑑賞することも出来る。広い敷地には小規模多機能ホームと地域に開放している地域交流センターが併設され、ホーム前に設置している掲示板は地域・行政・ホームの情報発信に活用されて地域との良好な関係が築かれている。

開設して13年目の始良地区でも中核的な存在のグループホームで、近隣の福祉事業所等と協働して介護劇団を結成し、公民館や小学校等で介護劇や介護教室などを開催するなど地域に向けての認知症の啓蒙活動にも力を入れている。

災害対策においては近隣住民も緊急連絡網に登録され、全居室を掃き出し窓にしてテラスを設置し、すぐに外に出せる造りとなっている。また、居室の入り口に利用者の身体状況を掲示して外部者でも適切な避難誘導がスムーズに行えるよう工夫している。

家族からの意見・要望も家族からの提案により面会簿を工夫した連絡帳を作成したところ、成果が得られてサービスの質の向上や家族との信頼関係の構築に繋がっている。「職員の対応が優しく細やかで安心して任せられる」と家族からの好評価も寄せられている。

管理者・職員は認知症ケアに対するしっかりとした理想と目標を持ち、利用者が常に笑顔で過ごしてもらえるように質の高いサービスの提供に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に理念とコンプライアンスルールを職員全員で復唱することで共有しています。	理念の中に「地域と共にあなたを支えます」との地域との関わり的重要性を認識した文言も含まれている。職員は申し送り時に復唱して理念の共有と実践に繋げている。また、理念とは別に年間標語も掲げ、1年間の目標とし、実践に取り組んでいる。理念は玄関・ホールに掲示し、重要事項説明書に明記されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入すると共に、自施設の掲示板等にホームの便りを掲示しています。またボランティアの方や保育園児も各行事に参加しています。	自治会に加入し、回覧板にてホームの広報誌の回覧を行ったり依頼を受けて講話を行うなど良好な関係が築かれている。また、隣接する地域交流センターは地域に開放し、ホーム前の掲示板は地域・行政・ホームからの情報発信に活かされている。近隣の保育園との交流や中学生・高校生・看護学校生の実習、ボランティアの受け入れも行っている。地域行事の初午祭にはホーム前でも馬踊りが披露されて地域住民も観覧に訪れる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	自施設が主体となり介護劇を通じ地域の催しに参加などサポート養成講演を行ったりしています。「語らい処」を設けて地域の方々からの認知症の相談や勉強会も行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の代表、地域（民生委員、自治会）の代表、行政関係者の方々に参加を頂いています。意見等を頂き日々のケアなどに活かしています。	自治会長・民生委員・自治会連合協議会員地域住民代表・家族代表・行政等の参加で2ヶ月に1回開催されている。家族からの意見・要望を引き出す工夫について、出席者からの助言をもらったり、時には、防災訓練時に開催することもあり、実情をみてもらい、気づきや助言をもらうなどサービス向上や安全対策に活かされた有意義な会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	施設長、管理者共に地域の役員をしていることもあり、密に連絡を取り合い日頃から互いに良好な関係を築いています。	運営推進会議に毎回出席してもらってホームの実情や取り組みを積極的に伝えている。生保者もおり、担当者との連携も図っている。また、学校や公民館等で認知症サポーター養成講座も行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	自施設では身体拘束宣言をします。こまめな巡視を元にセンサーやコールマットを活用するなどして職員も身体拘束をしないことを理解しております。自施設の造りとしまして、防災の面からもどこからでも自由に戸外へ出られるようになっております。	玄関に「身体拘束排除宣言」を掲示し、定期的に勉強会や事例検討会を行って職員が正しく理解できるように取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせずに外出傾向のある利用者には職員の見守りと連携で拘束のない安全で自由な生活を支援している。今年度は外部から講師を招いて人権擁護についての研修も予定している	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝、朝礼時に利用者権利擁護指針（コンプライアンスルール）を復唱することで虐待行為について理解・確認をします。また研修や勉強会にて再確認を行っております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度は知識として知っている程度であり活用や具体的なとなると未熟な部分がある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、契約書・重要事項などの説明を行い理解して頂くと共に不安や疑問など無いように努めています。退所時も家族との話し合いを持つと共に関係連携持ち、行先を決めるまでの援助を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や行事等に積極的に家族に参加してもらい、一緒に食事を摂りながら職員とも交流をし、良い関係性を築けるようしています。ご家族の面会時には連絡帳を作り、でた意見を職員は共有し、運営推進会議等に必要に応じて報告するなどしています。	来訪時や行事の際、電話連絡時等に意見・要望を聞き出すように努め、他にも面会簿を兼ねた個別の連絡帳で気づきや要望などを気軽に書いてもらえるように工夫している。ホームページで日常の様子などがわかるようにしており遠方の家族から大変好評である。他にも外部者に表せる機会として第三者委員も設置して重要事項説明書に明記している	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや随時、責任者との会話を通じコミュニケーションをとると共に、普段から日常会話をするなどして、何でも言える雰囲気を作っています。	毎朝の申し送りと午後からのスタッフ会議、毎月のミーティング時等に職員からの意見・提案を話し合う機会としている。出された意見・提案等は可能な限り叶えられるように運営に反映させている。年2回職員間の交流会も行ってコミュニケーションを図っている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	お子様のいるスタッフが多いため勤務変更にも即対応したり、学校行事にや私生活に出来るだけ合わせた勤務を行っています。資格取得に積極的になれるように資格手当・報奨金また退職金積み立ては全額雇用者負担で行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修者は参加できるようシフト調整を行うと共に、参加費の自社負担を行うなどしています。また他施設と連携して認知症指導者による研修会を行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他グループホームとの情報や意見交換の機会と共に、認知症指導者による研修会や認知症サポーター養成講座に伴う介護劇団活動を他の福祉施設や近隣の施設と共同で活動し開催するなどしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所される前の状況等把握する為にも、必ず面会（必要に応じて数回）を行い本人との関係性を良くし利用されてもご本人の生活ができるようにしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者様の生活歴や今までの介護サービス利用状況、御家族の苦労などを面談にて聴き関係者にも聞き取りを行うと共に、入所時の記録として要望等を残すなど関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時のサービス計画において、支援として何が必要かを関係性の構築と共に本人の苦しみを和らげる支援とは何かを元にプランの作成を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	行事の際、ご家族の参加をして頂くと共に職員とご家族・利用者様の関係性を第一に考え、施設利用されていらっしゃることを感じさせないようなケアを実践しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間事業計画を作り年度初めに郵送することで遠方の御家族も、施設の行事に参加して頂けるように努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事に出掛けることや馴染みの場所にお連れするなど馬蹄りを自施設にお呼びすることで地域の皆さまがお越し頂いています。	日常の会話の中から馴染みの人や場所を把握して可能な限り関係が途切れないようにふるさと訪問を行ったり出身地の行事見学に連れて行くなど支援している。友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性についてミーティング・カンファレンスにて情報を連携・共有し、利用者様同士が快く過ごせるよう心掛けています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方のお見舞い行くなど、再入所の希望においては優先的に入所などの配慮しています。亡くなられた時は、通夜や告別式に参列するなどしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様・御家族から利用される前の暮らしの状況・利用後どのような生活をされたいかを聴き、ケアに活かしています。	日常の関わりや会話で利用者の思いや意向を把握するように心がけている。会話が困難な場合は表情や言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。得られた情報はミーティングや個人記録で職員間の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用される前に聴き取りや自宅等を訪問し、本人・家族・担当ケアマネなどから生活歴を知り、アセスメントシート等でスタッフ全員で確認・把握する様に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者様のしたいことや、意思を尊重し過ぎて頂けるようにすると共に、利用者様、自身の出来る事などを最大限に発揮できるようにカンファレンスなどにてスタッフの振り返りもしております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様・家族・医師等関係者の意見を反映したプラン作成と、利用者の心身に変化が生じた場合、適宜関係者とのカンファレンスや共有して、現状に即した支援を行っています。	本人参加の担当者会議を開き、暮らし方の希望や意向を基に家族や主治医、職員の意見を取り入れながら介護計画を作成している。又、モニタリング、評価の記録を基に状態・生活機能の確認をし、きめ細かいサービスの提供を図っている。必要に応じて見直しを行い、問題がなくても定期的な見直しで現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のスタッフとの会話もケース記録へ記入し、御家族が気付いたところなど連絡帳へ記載して頂くなどして、スタッフでは気づかない所などの点に配慮しながら毎日のカンファレンスにおいて変化に対応共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	遠方におられるご家族の方や高齢の方など個々の状況に配慮して、通院時の送迎、付き添い、入院中の洗濯など、必要に応じたケアを行うことで御家族の心身の負担軽減を行っています。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等に地域の保育園児の定期的な参加だけでなく、緊急時の連絡先に近隣の方を入れ、防災訓練に参加協力して頂き、安全に過ごして頂くよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅診療計画の契約を結んでおり、月1回の主治医の受診をしております。体調不良時は状況に応じて施設で搬送したり、往診して頂くなど24時間対応して頂いています。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診はホームより同行しており、かかりつけ医と事業所の関係が築かれている。受診後は家族に随時報告している。看護職員も配置されて利用者の健康管理が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、日勤帯は情報や気づきを申し送るとともに夜勤帯の急変・事故発生時は連絡して指示を仰ぐなどしています。また会議等を通じて看護に対する勉強会を行い互いの関りが出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時にスタッフが面会に行くなど、利用者様が安心して入院して頂けるようにしています。定期的な医療機関との会合等を通じて医師、関係者共に密に情報交換、相談・カンファレンスに努めて退院後も経過を報告や連絡するなどしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所でできることを十分に説明し、ご本人や家族等の意思を一番に考えてチームで取り組んでいます。主治医より、現在の症状・状態や今後のことなど専門家より説明を頂いて、相互に理解が深められるようしています。	重度化及び看取り介護に関する指針を作成して入居時に説明している。入居後は身体状況に応じて医師の判断のもと、家族と方向性を話し合い、ホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	施設開設に伴い、AEDを設置して心肺蘇生術の研修を行うなど看護職員より、職員ミーティング等で研修会を実施するなどユニットが併設してあることを生かし夜間の急変時も対応出来るように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>各居室、ホールよりテラスに出られる構造になっています。初期消火の為スプリンクラーの設置もしており、同敷地内のご家族、近隣の方にも非常通報にて連絡が取れるなど平常から協力体制を築いています。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を実施している。近隣住民も緊急連絡網に登録されており、協力体制が築かれている。ホームセキュリティとの契約、スプリンクラー、自動通報システムも設置され、備蓄も確保されている。居室入り口に身体状況が掲示されており、外部者でも適切な誘導がスムーズにできるよう工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出勤時、職員は利用者お一人、お一人に挨拶を行い、朝礼時理念・コンプライアンスルールを復唱、確認を実施、言葉かけなど留意しています。また今年度は人権擁護委員による研修も予定しております。	理念を基にした利用者権利擁護指針を作成し、玄関に掲示すると共に毎朝復唱して職員の資質の向上に努めている。また、日常の業務でも気づいたら注意し合うなど誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけをしている	ポジティブプランや、意思が上手伝えることのできない方においてはカンファレンスの際など利用者様の苦しみは何かを考えケアを実施できるように努めております。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様一人ひとりの希望や要求される事への実現は難しいですが、起床・食事・就寝時間などは可能な限り、本人の希望に沿った支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	出張美容師にて対応してもらい、パーマを希望にも対応しております。衣類の購入についても本人に選択して頂くことや希望があれば女性職員にて化粧やネイルなどしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材の下準備、そば打ちなど季節を楽しみながら行って頂き、調理し提供するなど、テーブル拭き等利用者様の出来る事に応じてお手伝いして頂いています。	利用者それぞれの力量に合わせて筍やつわの皮むき、畑仕事、そば打ちや餅つきなど職員と共に行っている。また「食」は利用者の楽しみのひとつであり、希望を聞いて出前寿司、宅配ピザ、朝食に菓子パンなども提供している。時には庭でバーベキューを楽しんだり、外食、弁当持参での外出も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は調理師がバランスなどに考慮し栄養価ソフトを使用して行っています。著しく食事摂取量が少ない方には主治医と連携をとり高カロリー食の提供、水分については必要に応じ好きな味のゼリー食で補っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	義歯の方には毎日、義歯洗浄剤で消毒を行い、磨き残しなど不衛生にならないよう利用者様が磨かれた後スタッフが介助を行うなどしています。スタッフにも口腔ケアの必要性の周知を図っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し排泄のパターンの把握と共に下着やリハビリパンツを着用にて、基本的にトイレにての排泄を心掛けています。立位の難しい方は二人介助にて行うなどしております。	時間単位の排せつチェック表を作成して、個々のパターンを把握し、身体状況に問題がない限りおむつは使用しない方針でトイレでの排せつを支援している。入居後に改善された利用者もあり、皮膚疾患などの改善にも繋がっている。自立している利用者も維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量に留意しできるだけ自然排便できるよう腹部マッサージや毎日の体操に腹式呼吸をするなど支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の順序や温度については意向を尊重し調整しています。曜日・時間帯についても全ては困難なところもありますが、可能な限り、要望に添える様に行っております。	基本的には一日おきを目安としているが本人の希望や身体状況に応じて柔軟に支援している。また、福祉器具導入で職員・利用者の負担が軽減され安全・快適な入浴が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調などに考慮し希望に添える様、室温の調節を行うと共に加湿器の設置などしております。就寝、起床時間も決まっておりますが、ご本人に合わせて介助しています。就寝前に温かい飲み物を提供するなどを行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の管理の基、処方等については説明書を綴り、確認・把握が出来るようにしています。また服薬の変更時には様子観察の徹底・疑問など必要に応じて看護師に確認するなど対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常的に調理の手伝いや洗濯物たたみ、時折、畑仕事など利用者様の希望や体調に配慮し行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	必要に応じてリハビリや気分転換に散歩やテラスでの日光浴、お茶などしています。御家族の方と協力しながら地域の行事などに参加しています。遠足にて普段行けない場所へとお連れするなどしています。	天気のいい日は畑仕事や散歩に出かけたりテラスでお茶や外気浴を楽しむなどホームに閉じこもらない生活を支援している。本人希望によるふるさと訪問や全員で出かける季節の花見、外食、地域行事見学などの外出支援も行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	認知症の方をお世話させて頂いており、全ての預り金はホームで管理させて頂いています。お出かけや欲しい物がある際は職員が同行して買い物を楽しんで頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	自由に、利用者様が電話されたい時は出来るようにしています。また利用者様や御家族に考慮し、子機を使用することでプライバシーへの配慮を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やホールなどに季節の花をいけたり、掲示板にも季節感が感じられるように随時、交換し利用者様の作ったものや画いた掲示物や書など飾っております。季節感と開放感が同時に得られるような作りとなっております。	共用空間は広く明るく食事のダイニングとくつろぎの空間に分かれて過ごしやすように配置されている。ユニット間は可動式の間仕切りで区切られているが、行事の際や夜勤時などは行き来できるようになっている。また、リビングから直接出入りできるテラスは日常的に日光浴やお茶などに活用され、開放感がある造りである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールでの余暇をゆっくりと過ごせるように椅子も一人用からソファまで必要に応じて配置の検討や利用者様同士の関係性などにも配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使用されていたなじみのある家具やご家族との写真等を持ってきて頂き、本人の安らぎの場所になるよう配慮しています。また面会時などゆっくりと会話などができるように努めております。	テラス付きの居室は開放感があり、災害時においても安心な造りである。寝具・テレビ・たんす・椅子・ラジオ・家族の写真・お気に入りの人形や飾り物などが持ち込まれて居心地良く過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	緊急時の為にも利用者様の各居室の出入り口には、身体状況の掲示がしております。またトイレや浴室の出入り口には目印を表示するなどし自立した生活の支援が出来る様にしています。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない